

添削ワークシート (小論文編 解答)

[1][2]の解答を確認しましょう。

[1] 以下の添削例を参照し、自分自身がどこまで添削できたか確認しましょう。文言が完全に一致する必要はありません。なお、第二段落の改行箇所は⑤です。8行～20行が第二段落でした。

[2] 各段落の役割は以下の通りです。

- 第一段落 (序論) : テーマを整理し、文章全体で論じる主張を明確に述べる。
- 第二段落 (本論①) : 具体的根拠を挙げながら、接種証明書を活用する際の問題点を説明する。
- 第三段落 (本論②) : 具体的根拠を挙げながら、接種証明書を活用するための方法を説明する。
- 第四段落 (結論) : 接種証明書の注意点や活用方法を踏まえて、筆者の主張をまとめる。

[より詳しく学びたい場合・・・]

今回のワークで添削できなかった項目には、以下の課題・対策が想定されます。自身の課題を理解し、文章作成の訓練・対策を始めましょう。

[1]③～⑥、⑨～⑱、⑳ / [2] (段落の役割)

⇒ 原稿用紙の使い方や言葉の選び方など、基礎的な文章の書き方を学ぶことが必要です。

[1]②、⑦、⑧、⑲ / [2] (小論文の構成の仕方)

⇒ 論述で求められる論理的思考や論理構成など、小論文の考え方を学び、実際に記述する訓練が必要です。

※ワークシートの構成上、問題番号化されていない修正箇所もあります。あわせてご確認ください。

問	年	高校名
1	3年	東京都立第一学園高等学校
2	2組	東京 太郎
3	14	東京 太郎

添削欄
① 縦書きの場合は、必ず漢数字を用います。
② 「接種証明書」と書くだけでは説明不足です。本文の中では、何の証明書なのかを明確に説明する必要があります。
③ カタカナ語の多用は避けましょう。文章の質を低めるので、適切な日本語を用いるようにします。「リコモンド」→「推奨」
④ 「〜と思う」といった表現の多用は避けられます。自信のなさや印象を与えるからです。「〜と考える」「〜だとある」といった形で断定します。
⑤ ここから本論に入ります。改行して、一マス空けてから書き出します。
⑥ 「〜され」が重なり、伝わりづらい表現になっています。具体的な数値を示せるとよいです。
⑦ 「高齢者」よりも「現役世代」の進捗状況を挙げて接種率が低いことを示しましょう。
⑧ 表現を統一しましょう。「パスポート」「ワクチンパスポート」と言い換える必要はありません。
⑨ 同じような内容の繰り返しは避けましょう。統一すると分かりやすくなります。「〜ではない」「〜だろ」「〜かもしれない」といったあいまいな表現は避け、論調が変わるため、接続の接続詞を用います。
⑩ この場合は「模索」「検討」などを用いるのが適切です。略語は用いませぬ。
⑪ 「経済団連」
⑫ 小論文では、「と」のみの使用は避けられます。この場合は「語句の引用」なので、「」を用います。
⑬ (一)内 二十七～三十五行目 一文の長さは、二～三行におさめます。一文で一つのことを述べるようにします。
⑭ 近接同語(同じ言葉の繰り返し)は避けましょう。(一)内 三十九～四十行目 本論(八行目)で述べてきたことと矛盾します。終始一貫した意見を述べましょう。
⑮ 字数オーバーは、大幅な減点の対象になります。

800字 (20)

600字

400字

200字